

# 決算報告書

第16期事業年度

自 平成31年 4月 1日  
至 令和 2年 3月31日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構



# 令和元年度 決算報告書

自 平成31年 4月 1日  
至 令和 2年 3月 31日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

(単位：百万円)

区 分	予 算	決 算	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	28,491	28,720	229	(注1)
施設整備費補助金	6,028	4,067	△ 1,961	(注2)
補助金等収入	1,740	1,832	92	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	56	56	0	
自己収入	177	251	74	
雑収入	177	251	74	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,984	3,501	517	(注5)
目的積立金取崩	0	24	24	(注6)
計	39,476	38,451	△ 1,025	
支出				
業務費	28,668	27,456	△ 1,213	
教育研究経費	28,668	27,456	△ 1,213	(注7)
施設整備費	6,084	4,123	△ 1,961	(注8)
補助金等	1,740	1,831	91	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,984	3,201	217	(注10)
計	39,476	36,610	△ 2,866	
収入－支出	0	1,841	1,841	

端数は四捨五入により整理されております。

なお、各項目の端数整理の関係から計が一致しない場合があります。

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった前年度からの繰越し、年俸制導入促進費、退職手当及び補正予算の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が 229 百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、年度内未完了により翌年度へ繰り越したこと等により、予算額に比して決算額が 1,961 百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が 92 百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、予算段階では予定していなかった財産貸付料収入の増加等により、予算額に比して決算額が 74 百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった寄附金による収入が見込みよりも多額となったこと等により、予算額に比して決算額が 517 百万円多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった事業の一部に充当したことにより、予算額に比して決算額が 24 百万円多額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、令和元年度に実施予定であった事業の一部を翌年度に繰り越したこと等により、予算額に比して決算額が 1,213 百万円少額となっています。
- (注8) 施設整備費については、(注2) に示した理由により、予算額に比して決算額が 1,961 百万円少額となっています。
- (注9) 補助金等については、(注3) に示した理由により、予算額に比して決算額が 91 百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、予算段階では予定していなかった寄附金による収入が見込みよりも多額となったことに伴い、寄附金事業費が多額となったこと等により、予算額に比して決算額が 217 百万円多額となっています。